

この安全データシートは以下の要件に従って作成された：
規則(EC) No. 1907/2006及び規則(EC) No. 1272/2008

発行日 23-4-2018

改訂日 01-11-2019

改定番号 3

項目1：化学品及び会社情報

1.1. 製品特定名

製品コード E29840 PBV000498

製品名 M35

1.2. 化学物質または混合物に関連する推奨用途および使用上の制限

推奨用途 コーヒー/エスプレッソマシン/機器クリーナー

1.3. 安全データシートの提供者の詳細

供給者名 Cafetto

供給者の住所 12 Coglin Street, Brompton SA 5007 Australia
Parkstraat 83 2514JG Den Haag, The Netherlands;
9 Raffles Place, #27-00 Republic Plaza, Singapore 048619

供給者電話番号 Australia: +61 8 8245 6901
New Zealand: 0800 772 227
USA: 206 462 5212
EU: +44 20 7193 7370
Singapore: 800 616 3122

供給者電子メール enquiry@cafetto.com

詳細はお問い合わせください。

1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 情報なし

緊急連絡電話番号 § 45 - (EC)1272/2008

欧州	112
オーストラリア	000
米国	119
英国	999

セクション2：危険有害性の要約

2.1. 化学物質又は混合物の分類

規則(EC)No. 1272/2008

皮膚腐食性／皮膚刺激性	区分 2 - (H315)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2 - (H319)

2.2. ラベル要素



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H315 - 皮膚刺激

H319 - 強い眼刺激

注意書き - EU(S 28, 1272/2008)

P101 - 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと

P102 - 子供の手の届かないところに置くこと

P264 - 取扱後は手をよく洗うこと

P280 - 保護手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること

P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること

P337 + P313 - 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること

P302 + P352 - 汚染された衣類を全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること

2.3. その他の危険性有害性

情報なし

セクション3：組成及び成分情報

3.1 化学物質

該当しない。

3.2 混合物：

化学名	EC番号	CAS番号	重量%	規則(EC)No. 1272/2008[CLP]による分類	REACH登録番号
TSP anhydrous	-	7601-54-9	10-30%	Skin Irrit. 2 (H315) Eye Dam. 1 (H318)	データなし
Sodium Lauryl Sul fate	-	73296-89-6	1-10%	Skin Irrit. 2 (H315) Eye Dam. 1 (H318)	データなし

HフレーズおよびEUHフレーズの全文：項目16を参照のこと

この製品は、高懸念物質の候補物質(規則(EC)No. 1907/2006(REACH)、第59条)を0.1%以上の濃度で含んでいない

項目4：応急措置



4.1. 応急措置の記載

一般的なアドバイス	直ちに医師の手当てを受ける必要がある。治療を行う医師にこの安全性データシートを示すこと。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移すこと。症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。ばく露又はばく露の懸念のある場合：医師の診断／手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	直ちに石鹸と多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと。刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。
眼接触	直ちに医師の診断／手当てを受けること。直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。洗っている間は目を大きく広げてたままにすること。受傷部をこすらないこと。
飲み込んだ場合	水で口をすすぎ、その後多量の水を飲むこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。無理に吐かせないこと。医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。個人用保護衣を着用すること(項目8を参照)。

4.2. 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状 灼熱感。

4.3. 取るべき応急措置及び必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

セクション5：火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。
大規模火災	警告：消火の効果が得られない場合には水噴霧を使用すること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。

5.2. 化学物質又は混合物から生じる特有の危険有害性

特有の危険有害性
熱分解すると刺激性及び有毒なガス及び蒸気を放出する可能性がある。

危険有害性燃焼生成物
二酸化炭素。

5.3. 消火を行う者への助言

消火を行う者のための特別な保護具
消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

項目6：漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。指定された個人保護具を使用すること。十分換気されているか確認すること。人員を安全な区域に退避させること。

その他の情報 7項及び8項に記載されている保護措置を参照すること。

緊急対応を行う者のための保護具 8項で推奨されている個人用保護具を着用すること。

6.2. 環境に対する予防措置

環境に対する予防措置 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び器材

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 廃棄するために機械的にすくい取り、適切な容器に収容すること。

6.4. 他の項目を参照

参照すべき項 詳細は8項を参考する。詳細は13項を参照する。

項目7：取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全取扱注意事項

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。十分換気されているか確認すること。蒸気又はミストを吸い込まないようにすること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

一般的な衛生注意事項 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。適切な手袋および眼/顔面保護具を着用する。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2. 混触危険物質を含む、安全な保管条件

安全な保管条件 容器を密閉して乾燥した涼しく換気の良い場所に保管すること。施錠して保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。

7.3. 特定最終用途

リスク管理方法(RMM) 必要とされる情報はこの安全データシートに含まれている。

項目8：ばく露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

被ばく限度

導出無毒性量(DNEL) 情報なし

予測無影響濃度(PNEC) 情報なし

8.2. 暴露防止

個人用保護具

眼/顔の保護具 密封性の高い安全ゴーグル。

手の保護具 適切な手袋を着用する。不浸透性手袋。

皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。
環境ばく露防止	情報なし。

項目9：物理的および化学的性質

9.1. 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态	固体	
外観	白色	
臭い	特異臭	
色	情報なし	
臭いのしきい値	該当しない	
特性	値	備考 方法
pH	10	知見なし
融点／凝固点	データなし	知見なし
沸点／沸点範囲	データなし	知見なし
引火点	データなし	知見なし
蒸発速度	データなし	知見なし
燃焼性(固体、気体)	データなし	知見なし
空気中での可燃限界		知見なし
可燃性上限	データなし	
可燃性下限	データなし	
蒸気圧	データなし	知見なし
蒸気濃度	データなし	知見なし
相対密度	データなし	知見なし
水への溶解度	水に可溶	
溶解度	データなし	知見なし
n-オクタノール／水分配係数	Not Applicable	
自然発火温度	データなし	知見なし
分解温度	データなし	知見なし
動粘性率	データなし	知見なし
粘度	データなし	知見なし

9.2. その他の情報

軟化点	情報なし
分子量	情報なし
VOC含有率 (%)	情報なし
蒸気濃度	情報なし
かさ密度	情報なし
粒径	情報なし
粒径分布	情報なし

項目10：安定性および反応性

10.1. 反応性

データなし。

10.2. 化学的安定性

通常の条件下で安定。

爆発データ	
機械的衝撃に対する感度	なし。
静電放電に対する感度	なし。

10.3. 危険有害反応可能性

危険有害性反応危険性 通常のプロセスではない。

危険有害性な重合 危険有害性の重合は発生しない。

10.4. 避けるべき条件

知見なし。

10.5. 混触危険物質

強酸, 強塩基, 強酸化剤。

10.6. 危険有害な分解生成物

二酸化炭素。

項目11：有害性情報

11.1. 有害影響に関する情報

可能性のある暴露経路に関する情報

製品情報

吸入した場合	この化学物質または混合物の特定試験データはない。気道刺激を引き起こすおそれ。
眼接触	この化学物質または混合物の特定試験データはない。(成分に基づく)。眼に対する重篤な刺激性。火傷のおそれ。
皮膚に付着した場合	この化学物質または混合物の特定試験データはない。皮膚刺激。(成分に基づく)。
飲み込んだ場合	この化学物質または混合物の特定試験データはない。飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。

有害影響に関する情報

症状 発赤、灼熱、失明を引き起こすおそれがある。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。

毒性の数値尺度

急性毒性

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

ATEmix(経口) 5,331.00 mg/kg

未知の急性毒性

- 混合物の 41 パーセントは未知の毒性を持つ成分で構成されている
- 混合物の 41 %は急性経口毒性が未知の成分から成る
- 混合物の 41 %は急性経皮毒性が未知の成分から成る
- 混合物の 41 %は急性吸入毒性(ガス)が未知の成分から成る
- 混合物の 41 %は急性吸入毒性(蒸気)が未知の成分から成る
- 混合物の 41 %は急性吸入毒性(粉じん/ミスト)が未知の成分から成る

成分情報

化学名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
TSP anhydrous	> 2000 mg/kg (Rat)	> 300 mg/kg (Rabbit)	> 2.16 mg/L (Rat) 1 h
Sodium Lauryl Sulfate	= 1783 mg/kg (Rat)	-	-

短期的及び長期的ばく露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

皮膚腐食性／皮膚刺激性	成分に対して利用可能なデータに基づく分類。皮膚を刺激する。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	成分に対して利用可能なデータに基づく分類。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし。
生殖細胞変異原性	情報なし。
発がん性	情報なし。
生殖毒性	情報なし。
特定標的臓器毒性 - 単回ばく露	呼吸器への刺激のおそれ。
特定標的臓器毒性 - 反復ばく露	情報なし。
吸引性呼吸器有害性	情報なし。

項目12：環境影響情報

12.1. 生態毒性

生態毒性

化学名	藻類に対する毒性	魚類に対する毒性	微生物に対する毒性	Daphnia magna (オオミジンコ)
Sodium Lauryl Sulfate	96h EC50: = 42 mg/L (Desmodesmus subspicatus)	48h LC50: = 4.1 mg/L (Leuciscus idus)	-	24h EC50: = 21.2 mg/L

12.2. 残留性・分解性

残留性・分解性 情報なし。

12.3. 生態蓄積性

生体蓄積性 情報なし。

12.4. 土壌中の移動性

土壌中の移動性 情報なし。

12.5. PBTおよびvPvBの評価結果

PBT及びvPvB評価 情報なし。

化学名	PBT及びvPvB評価
TSP anhydrous	本物質はPBT/vPvBでない PBT評価は適用されない
Sodium Lauryl Sulfate	本物質はPBT/vPvBでない

12.6. 他の有害影響

その他の有害影響 情報なし。

項目13：廃棄上の注意

13.1. 廃棄物処理方法

残余廃棄物	現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。
汚染容器及び包装	情報なし。

項目14：輸送上の注意

<u>IMDG/IMO</u>	規制されていない
14.1 国連番号	規制されていない
14.2 正式輸送品目名	規制されていない
14.3 危険有害性クラス	規制されていない
14.4 容器等級	規制されていない
14.5 海洋汚染物質	該当しない
14.6 特例規定	なし
14.7 MARPOL 付属文書IIおよびIBCコードによるばら積み輸送	情報なし

<u>RID</u>	規制されていない
14.1 国連番号	規制されていない
14.2 正式輸送品目名	規制されていない
14.3 危険有害性クラス	規制されていない
14.4 容器等級	規制されていない
14.5 環境危険有害性	該当しない
14.6 特例規定	なし

<u>ADR</u>	規制されていない
14.1 国連番号	規制されていない
14.2 正式輸送品目名	規制されていない
14.3 危険有害性クラス	規制されていない
14.4 容器等級	規制されていない
14.5 環境危険有害性	該当しない
14.6 特例規定	なし

<u>IATA</u>	規制されていない
14.1 国連番号	規制されていない
14.2 正式輸送品目名	NON REGULATED
14.3 危険有害性クラス	規制されていない
14.4 容器等級	規制されていない
14.5 環境危険有害性	該当しない
14.6 特例規定	なし

項目15：適用法令

15.1. 化学物質又は混合物に固有の安全、衛生及び環境規規則/法令

欧州連合

作業場での化学物質に関するリスクからの労働者の保護に関する指令98/24/ECに留意すること。

使用上の許認可又は制限：

この製品は、許認可の対象となる物質(規則(EC)No. 1907/2006 (REACH)、付属書XIV)を含んでいない。この製品は、



制限(規則(EC)No. 1907/2006 (REACH)、附属書XVII)の対象となる物質を含んでいない。

残留性有機汚染物質
該当しない。

オゾン破壊物質(OD)規則(EC)1005/2009
該当しない。

15.2. 化学物質安全性評価

情報なし。

Additional Regulatory Information:

This SDS complies with legislative requirements in Australia, including Safe Work Australia guidelines, Australian Dangerous Goods Code and the criteria for the Globally Harmonised System (GHS) of Classification and Labelling of Chemicals

項目16：その他の情報

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

項目2及び3に示されているHステートメントの全文

H315 - 皮膚刺激
H318 - 重篤な眼の損傷
H319 - 強い眼刺激
H335 - 呼吸器への刺激のおそれ

凡例

SVHC：許認可の対象となる高懸念物質:

項目8：ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA (時間加重平均)	STEL	STEL (短時間暴露限度)
天井値	最大限界値	-	皮膚兆候

主要参照文献とデータの出典

www.ChemADVISOR.com/

発行日 23-4-2018

改訂日 01-11-2019

この安全データシートは以下の要件に準拠している： 規則(EC) No. 1907/2006.

免責事項

この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートのおわり